

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公開番号】特開2016-183501(P2016-183501A)

【公開日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2016-060

【出願番号】特願2015-64274(P2015-64274)

【国際特許分類】

E 04 G 23/02 (2006.01)

E 04 C 5/16 (2006.01)

E 04 B 1/24 (2006.01)

E 04 G 21/12 (2006.01)

【F I】

E 04 G 23/02 D

E 04 C 5/16

E 04 B 1/24 F

E 04 G 21/12 105Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月23日(2018.1.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、

R C構造物の上向きに開けた削孔に棒部材を上向きに挿入する場合において、

前記棒部材の周囲に、その先端部側から後端部側に向けて延びる針部材を複数本取り付け、

前記削孔に前記棒部材を上向きに挿入して、前記削孔面に前記棒部材周囲の前記針部材を食い込ませる、棒部材の上向き固定方法を特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項2に記載の発明は、

請求項1に記載の棒部材の上向き固定方法であって、

前記針部材を、前記棒部材の先端部と後端部の周囲にそれぞれ取り付けることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項3に記載の発明は、

請求項 1 または 2 に記載の棒部材の上向き固定方法であって、  
前記針部材を、前記棒部材への装着具の周囲に 3 本以上取り付けることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

鉄筋コンクリート構造物の上向きに開けた削孔に棒部材を上向きに挿入する場合において、

前記棒部材の周囲に、その先端部側から後端部側に向けて延びる針部材を複数本取り付け、

前記削孔に前記棒部材を上向きに挿入して、前記削孔面に前記棒部材周囲の前記針部材を食い込ませることを特徴とする棒部材の上向き固定方法。

【請求項 2】

前記針部材を、前記棒部材の先端部と後端部の周囲にそれぞれ取り付けることを特徴とする請求項 1 に記載の棒部材の上向き固定方法。

【請求項 3】

前記針部材を、前記棒部材への装着具の周囲に 3 本以上取り付けることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の棒部材の上向き固定方法。